

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	徳島市家庭教育支援チーム (呼称:machinowa マチノワ) URL: https://machinowalive.com/ https://www.instagram.com/machinowa.tokushima/
②活動拠点	徳島県徳島市東沖洲1丁目8 東部防災館 おきのすインドアパーク3階 居場所スペース「マチノワみんなのお茶の間」 プレイスペース「マチノワみんなの広場」
③活動範囲	徳島市を中心とした徳島県内
④組織体制	16人 スタッフ(役員等)13人 マネージャー1人 地域ボランティア2人(管理栄養士、精神保健福祉士等)
⑤活動開始年度	2020年度 NPO法人認定2023年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人 machinowa 理事長 白桃 さと美 (TEL)080-1142-3386 (E-mail)mamanowalive@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 「親も、地域も、育ちあう。」を理念に、妊娠期から子育て期の家庭を対象として、家庭教育を地域全体で支えるための継続的な活動を実施している。 親子が安心して過ごせる地域の居場所を運営し、保護者同士の交流や仲間づくりを促進するとともに、助産師、看護師、公認心理師・臨床心理士、管理栄養士、保育士など多職種と連携し、子育て相談、発達相談、食育、健康づくり、家庭教育に関する学習機会を提供している。管理栄養士による赤ちゃん食堂では、栄養相談や離乳食・幼児食に関する食育を実施し、親子が安心して食を学べる機会を設けている。 また、LINE 相談や訪問支援、関係機関との連携を通じて、支援が必要な家庭へアウトリーチを行うとともに、行政、医療、教育、福祉機関への橋渡しを行い、切れ目のない支援体制を構築している。 さらに、地域住民や高校生・大学生ボランティアの参加を促進し、多世代交流や社会教育の実践の場を提供するとともに、ボランティアの育成や、看護学校の母性看護実習、大学・高校の授業、研究、卒業論文等への協力を通して、次世代の家庭教育支援や地域人材の育成にも取り組んでいる。 行政の委員会や会議等にも参画し、子育て家庭の現状や保護者の声を届け、地域の家庭教育施策や子育て支援施策への反映に努めている。 また、女性が地域や社会とのつながりを持ちながら、自分らしい働き方・暮らし方を選択できるよう、学びや交流、社会参加の機会を提供し、エンパワメントを目的とした活動を実施している。 活動にあたっては、ロジックモデルを活用し、目的・成果・評価指標を明確化するとともに、利用者アンケートや活動データの分析、関係者との振り返りを継続的に行い、活動評価を基に事業改善を図りながら、持続可能な家庭教育支援体制の構築を進めている。 ▼2025 年度活動報告書 https://machinowalive.com/recruitment-cat/3116/ ▼2024 年度活動報告書 https://machinowalive.com/recruitment-cat/2646/
④活動の成果 （活動実績がある場合）	年間 176 日の居場所を開所し、415 世帯、延べ 3,338 人が利用した。妊娠期から子育て期まで継続して利用する家庭が増え、保護者同士の交流や地域とのつながりが生まれることで、子育て家庭の孤独・孤立の予防や、安心して家庭教育を行える環境づくりにつながっている。 利用者アンケートでは高い満足度が得られ、妊娠期から利用した方の産後の居場所利用継続率は 100%となるなど、切れ目のない家庭教育支援の成果が確認されている。また、活動の目的や成果をロジックモデルに基づいて整理し、利用者アンケートや活動データ、外部評価委員会による評価・助言を受けながら継続的な事業改善を実施している。外部評価では、専門職

	との連携による相談支援や、企業・行政・地域との協働による家庭教育支援の仕組みづくり、PDCA サイクルを活用した継続的な改善が高く評価されている。 さらに、活動は新聞・テレビ・Web メディア等で多数紹介され、全国的に認知が広がっている。これまでに「とくしま子育て大賞(チーム育児部門)」「未来を強くする子育てプロジェクト スミセイ未来賞」「ベスト育児制度賞(孤立・困難抑止部門賞)」「程ヶ谷基金 男女共同参画・少子化に関する顕彰事業奨励賞」を受賞するなど、家庭教育支援や地域づくりに取り組む先進的な活動として第三者からも評価を受けている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 ・(徳島市子育て関連クーポン利用対象サービス提供事業者 ・独立行政法人福祉医療機構(WAM)社会福祉振興助成事業(2024・2025 年度通常助成) ・こどもの未来応援基金(WAM 助成)令和 8 年度未来応援ネットワーク事業 ・公益財団法人キューピーみらいたまご財団 ・とくしま子どもの居場所づくり推進基金(徳島県社会福祉協議会) ・赤い羽根福祉基金 ・2025 年後期生活支援ネットワーク緊急応援事業 ・企業パートナー/スポンサー協賛 ・企業・団体からの寄付・物資提供 ・個人寄付、会員会費、自主事業収入(デザイン・講演等の事業収入))